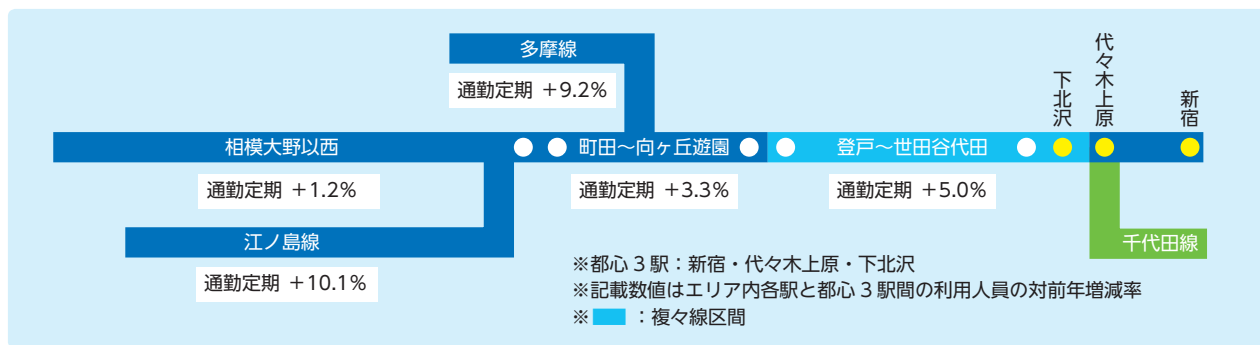


小田急線代々木上原駅から登戸駅までの11.7キロの間で完成した複々線を使用した新しいダイヤでの運行を、2018年3月17日に開始しました。

複々線を活用したダイヤ改正効果により、お客さまのご利用は着実に増加しています。

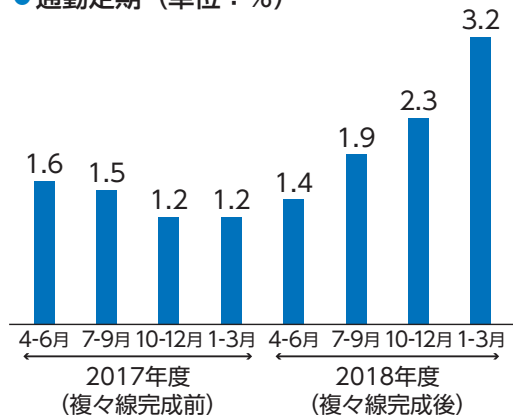
今後、当社では列車種別ごとの混雑平準化に向けたご案内など、より快適にご利用いただける鉄道を目指します。また、鉄道の利便性向上とともに住みやすい沿線まちづくりを進めてまいります。

都心3駅への利用人員(2018年度)



利用人員対前年増減率の推移

● 通勤定期 (単位：%)



今後の取り組み

- 複々線化のさらなるPR
- 沿線のまちづくり推進

2020年代前半に2017年度比
50億円+αの増収を目指す
(2020年度は30億円の増加)

沿線への人口流入・集積を図る

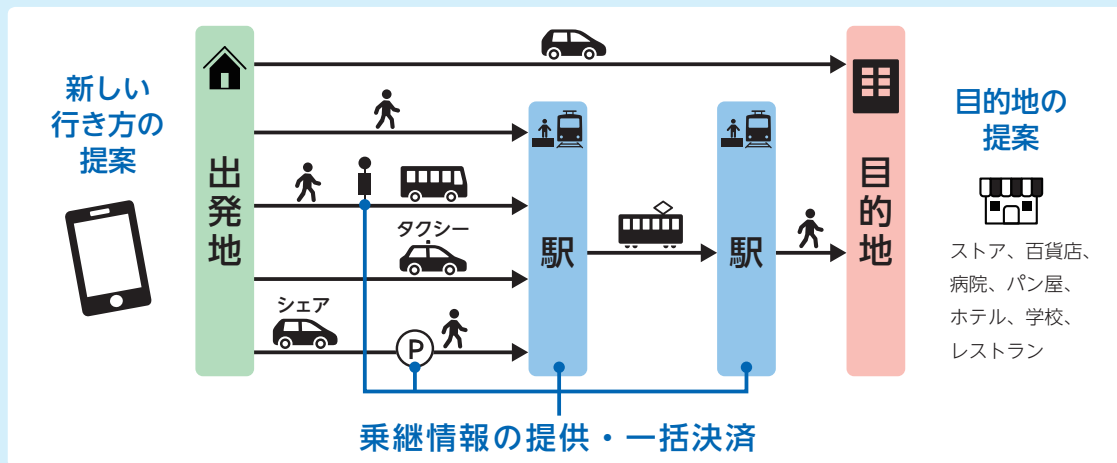
■ 新たな取り組み

次世代モビリティを活用したネットワークの構築

複々線化に加え、さらに快適な移動を実現すべく、当社は鉄道事業で90年間積み上げてきた安全・安心という普遍的な価値を揺るぎない土台としながら、次世代のテクノロジーを活かし、グループが一体となって「会いたいときに、会いたい人に、会いに行ける」新しいモビリティサービス(MaaS)を創出し、先進的なまちづくりを推進します。

● MaaSとは

複数のモビリティや目的地での活動を検索・予約・決済でき、一つのサービスのようにシームレスに利用できるサービス



 交通サービス利用中心のライフスタイルを提案

● MaaSによる効果



乗り継いで向かう
ことが簡単に



アクセスが心理的に
楽になり来訪者増加

目的地までの
定期外利用の増加



魅力が伝わり
来訪者が増える

